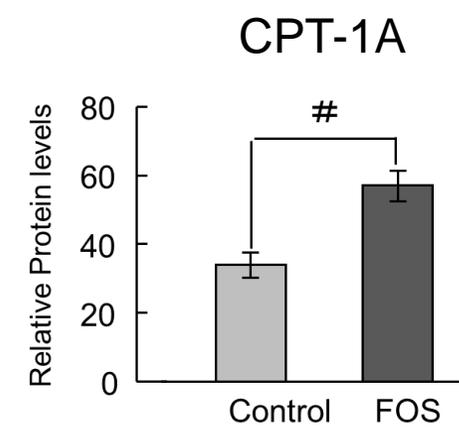
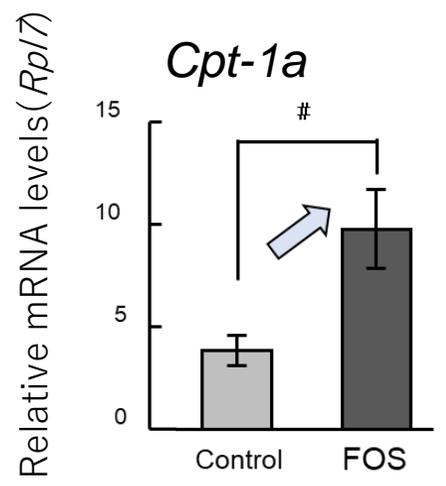
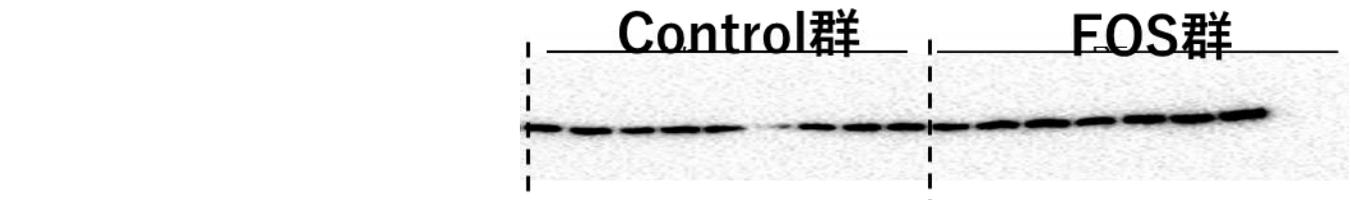
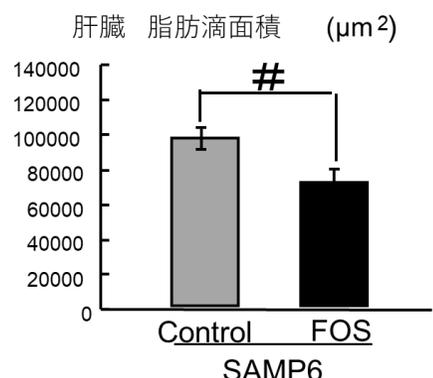
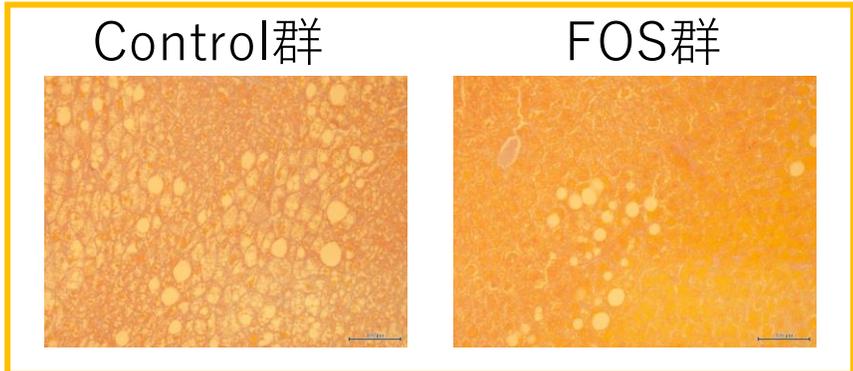


軽度大腸炎症モデルSAMP6 マウスへのフラクトオリゴ糖投与による脂肪肝抑制と代謝組織における脂質代謝関連遺伝子発現との関連

近年脂肪肝の発症原因の一つに腸バリア機能障害が挙げられ、食生活の乱れなどから腸内で炎症反応が引き起こされると腸管上皮細胞間から体内へリポ多糖が流入し、リポ多糖が肝臓まで到達することで脂肪肝になる可能性が示唆されている。(Erwin Gäbele et al., J Hepatology, volume55 .December 2011)

目的
本研究では、SAMP6マウスに高脂肪食を摂取させ、フラクトオリゴ糖の投与が、代謝関連臓器に与える影響について検討した。



Student's *t*-test
Means ± SEM for 8-9 mice
Control vs FOS #P<0.05
FOS=フラクトオリゴ糖